



第 155 号

2019 年 5 月 7 日発行

TEL 0193 - 42 - 2111

FAX 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

高校生活がんばるぞ！！
(大槌高等学校対面式)



主な内容

- ・ 予算特別委員会の内容・・・2～3
- ・ 審議した議案・・・・・・・・・・4～5
- ・ 一般質問の内容・・・・・・・・・・6～10
- ・ 特集 復興へのメッセージ・・・11

平成31年度予算を審議

「魅力化」と「チャレンジ」

復興から新たなステージを目指す

◇予算特別委員会―＊

予算特別委員会は、3月7日から13日までの日程で開催されました。委員長に金崎悟朗議員、副委員長に東梅守議員を選出し、本会議で付託された31年度一般会計予算など7会計の予算について審査しました。予算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、採決の結果、31年度の一般会計予算など7会計の予算は、いずれも全議員賛成により原案のとおり可決となりました。

注目事業

31年度に実施される事業の一部を紹介します。

○移住・定住促進事業

1297万円

人口減少を抑制し、持続可能なまちづくりを実現するため、交流・関係人口の創出、移住（希望者）と地域との受入体制の整備、移住者の住居確保等に対する支援等を行うため、窓口を設けるほか、地域・食・住を通じ、産業の担い手の確保と「おおつち暮らしのPR」を推進します。

○斎場整備事業

5149万円

斎場整備に伴う建設の



4月3日に竣工式が行われた「大槌町リサイクルセンター」

実施設計及び地質調査を実施し、老朽化した斎場を更新整備するものです。

○マテリアルリサイクル施設整備事業

4億821万円

既存施設の解体工事及びストックヤード建設に伴う地質調査、設計を実施するものです。

○大槌町地域商品券販売促進事業

3519万円

消費税率10%への引き上げに伴い低所得者・子育て世帯（0～2歳）の消費に与える影響を緩和すると共に、子育て世帯（3～18歳）へも、子育て世帯の消費支援と町内の消費喚起を目的に大槌町地域商品券を発行するものです。

○湧水保全フォーラム開催事業

291万円

平成31年11月末頃に開催を予定しており、豊かな湧水を有する当町の現

状や保全について町民と共にその課題を共有し、また湧水の町として県内外に情報発信します。開催会場は大槌町城山公園体育館を予定。開催内容は、基調講演、事例発表、現地視察、レセプション等を予定しています。

○大槌町復興整備事業

59億1515万円

震災復興土地地区画整理事業、防災集団移転促進事業、漁業集落防災機能強化事業、道路事業、下水道事業等の復興整備事業及び下水道災害復旧事業等インフラ整備を一体的に実施するものです。

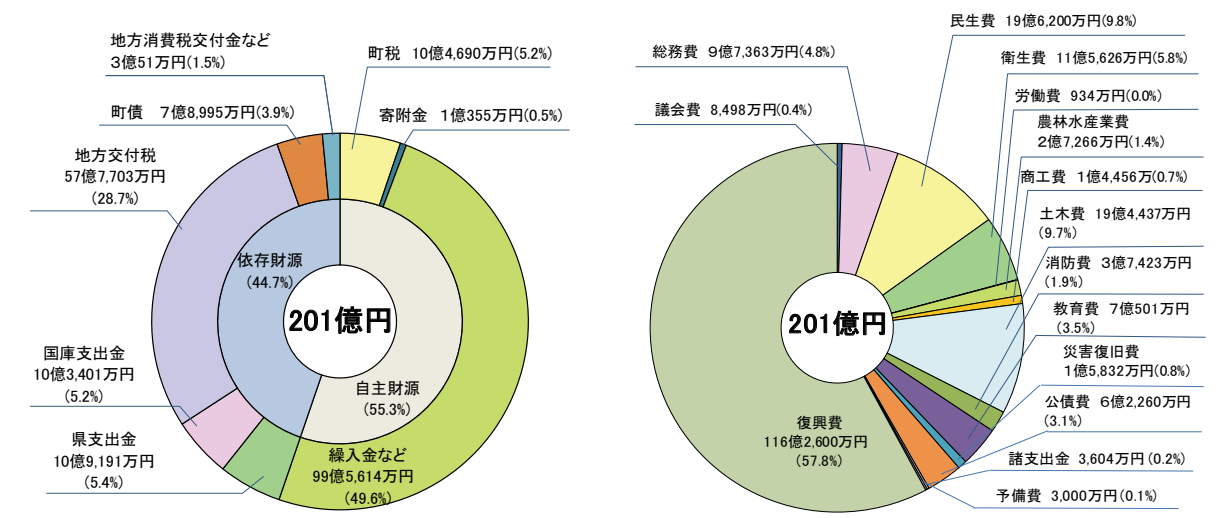
歳入

一般会計予算に関する質疑の一部を紹介します。

◎質疑：新設された森林環境譲与税とは。

◎答弁：私有林の適正管理事業に主に活用されることを見込んで、31年度については、国から600万円の歳入となる。こ

平成31年度 一般会計予算の内訳



歳入 歳出

平成31年度 各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計				
		国民健康保険	下水道事業	漁業集落排水処理事業	介護保険	後期高齢者医療
予算額	201 億円	17 億 9,881 万 2 千円	16 億 1,220 万 8 千円	12 億 6,256 万 2 千円	14 億 8,322 万 6 千円	1 億 2,485 万 1 千円

れについては、平成35年から国税で一人当たり1千円徴収するものです。

総務費

◎質疑：マイナンバーカードの普及率は、

◎答弁：普及が進まず、取得者は約10%程度となっている。

◎質疑：三陸鉄道の通常時の利用促進に向けた町としての取り組みは、

◎答弁：JRとの運賃差を「いわての学び希望基金」などを通じて減じる方向で対応すると、釜石駅での乗り継ぎに待ち時間がないようにする。また、乗り継ぎを同じホームにするなどの要望をしている。

◎質疑：おおつち移住定住プラットフォーム運営事業委託料について、どのようなところに委託をして、どういう展開を図っていく予定か。

◎答弁：移住経験者によ

るコミュニティの構築、Uターンの方々の受入環境の整備に協力できる個人や団体の方とのネットワークの構築、おおつちファンといわれる関係人口に向けた情報発信、交流会の企画運営等の業務を専従に実行していただけの人材を配置することにより、地域と移住希望者のマッチング体制を整えていく事業である。委託先は、大槌町観光交流協会を想定している。

商工費

◎質疑：にぎわい創出連携イベント事業委託料について委託先と具体的な内容は、

◎答弁：防災復興プロジェクト、ラグビーワールドカップ釜石開催がある。当町に全国、世界各国の方々から来ていただきたいということから、大槌を発着とした日帰りの周遊バスツアーを企画し、大槌の魅力ある観光地や食事所を案内する企

画を考えている。また、飲食店、宿泊業者、土産店、普段の買い物ができる店を対象にしたスタンプリーを考えている。委託先は、大槌町観光交流協会を考えている。

消防費

◎質疑：消防義魂碑建設の場所は、

◎答弁：先人の消防の方を象徴する碑であると思っている。消防会館の敷地内を予定している。

復興費

◎質疑：さけ・ます種苗生産施設等災害復旧詳細設計委託料について、どの部分か。

◎答弁：第一ふ化場の、水槽である。材質はアルミで災害復旧により平成23年に改修しているが、既に腐食して穴があき始めている。抜本的な整備が必要であることから、改修するための詳細設計である。

第1回定例会

一般質問に5議員が登壇

平成31年第1回定例会は、3月1日から14日までの14日間の会期で開催されました。今期定例会には、「大槌町障がい福祉プラン（基本計画）」の策定の報告、大槌町公文書管理条例の制定、大槌町子供の学び基本条例の制定、30年度の各会計の補正予算、31年度当初予算、報告5件、諮問4件、議案46件が提案されました。

また、一般質問には5議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどしました。

◇諮問—＊

◎人権擁護委員の推薦：人権擁護委員に及川正氏、三浦一氏、大萱生修一氏、小林孝夫氏を推薦する候補として適当であると同意したものです。



三浦一氏



及川正氏

◇議案—＊



小林孝夫氏



大萱生修一氏

◎大槌町教育委員会の教育長の任命に關し同意を求めること：沼田義孝氏を任命することに同意を求めるものです。（全員賛成・原案可決）



谷藤怜美氏



沼田義孝氏

◎大槌町教育委員会の委員の任命に關し同意を求めること：谷藤怜美氏を任命することに同意を求めるものです。（全員賛成・原案可決）

《条例の制定》

◎大槌町公文書管理条例の制定：公文書の適正な管理、適切な保存及び利用等を図り、適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、町政に関する町民の知る権利を尊重し、町の諸活動を現在及び将来の町民に説明する責任が全うされるようにすることを目的に定めるものです。（全員賛成・原案可決）

◎おおつち地場産業活性化センター設置及び管理に關する条例の制定：おおつち地場産業活性化センターの設置及び管理に關し必要な事項を定めようとするものです。（全員賛成・原案可決）

《指定管理者の指定》

◎大槌町多目的集会所の管理を行う指定管理者の指定：大槌町多目的集会所の管理者を、大ケ口地区四部落会連絡協議会とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎小槌地区多目的集会所の管理を行う指定管理者の指定：小槌地区多目的集会所の管理者を、小槌三燐会とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎桜木町保健福祉館の管理を行う指定管理者の指定：桜木町保健福祉会館の管理者を、桜木町自治会とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町蕨打直地区集会所の管理を行う

◎大槌町蕨打直地区集会所の管理を行う

議会の動き

（2月）

1日・大槌駅観光交流施設落成式

5日・東部議長会研修会（普代村）

8日・岩手沿岸南部広域環境組合議会定例会（金石市）

15日・全員協議会

19日・東部議長会臨時総会（盛岡市）

・県議長会定期総会
・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会（盛岡市）

25日・参議院東日本大震災復興特別委員会視察

26日・議会運営委員会

（3月）

1日・第1回定例会（15日）
・大槌高校卒業式

2日・自衛隊入隊予定者激励会

4日・大槌高校教育魅力化構想会議

7日・議会特別編集委員会・予算特別委員会（13日）

9日・三陸沿岸道路・東北横断自動車道開通祝賀会（金石市）

11日・東日本大震災追悼式

13日・大槌学園卒業式

・古里古里学園卒業式

20日・沿岸知の障害児施設組合議会定例会（宮古市）

23日・三陸鉄道リアス線開通式典（宮古市）

指定管理者の指定：大槌町蔵打直地区集会所の管理者を、蔵打直地区振興会とするものです。

（全員賛成・原案可決）

◎上町ふれあいセンタ－の管理を行う指定管理者の指定：上町ふれあいセンタ－の管理者を、大槌町上町第一自治会とするものです。

（全員賛成・原案可決）

◎かみよ稲穂館の管理を行う指定管理者の指定：かみよ稲穂館の管理者を、前段地域振興会とするものです。

（全員賛成・原案可決）

◎長井清流館の管理を行う指定管理者の指定：長井清流館の管理者を、長井地域交流推進委員会とするものです。

（全員賛成・原案可決）

◎大槌町沢山地区集会所の管理を行う指定管理者の指定：大槌町沢山地区集会所の管理者を、沢山町内会とするものです。

託料、農林業系廃棄物処理加速化業務委託料などによる増額補正、復興関連事業などの減額補正により、歳入歳出予算から51億819万8千円を減額し、予算の総額を387億3801万5千円とするものです。

《計画の策定》

◎第9次大槌町総合計画基本構想及び基本計画の策定：30年度末に大槌町東日本大震災津波復興計画の計画期間が終了となるため、その後継として策定するものであり、この計画は町民憲章を踏まえ、町民と行政との協働により持続可能なまちづくりに向けて着実に進んでいくための総合的な指針となるものです。

（全員賛成・原案可決）

◎平成31年度大槌町一般会計予算

（全員賛成・原案可決）

◎平成31年度大槌町国民健康保険特別会計予算

（全員賛成・原案可決）

《予算》

◎平成30年度大槌町一般会計補正予算（第6号）を定めること：ふるさと納税寄附積立金、保育所運営費委

立金、保育所運営費委

介護保険特別会計予算（全員賛成・原案可決）

◎平成31年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算

（全員賛成・原案可決）

◎平成31年度大槌町水道事業会計予算

（全員賛成・原案可決）

◇報告―＊

◎「大槌町障がい福祉プラン（基本計画）」の策定に係る報告：障害者基本法第11条第3項に基づくものであり、障がい者の施策を推進するための基本方針や、基本方向について総合的、体系的そして関連する他の法律等の計画等に配慮し、策定したことから報告するものです。

◎「元気・活いき大槌21プラン（第2次）」の変更に係る報告：国等の目標設定値の考え

方の変更に伴い、目標項目及び目標値の間見直しを行うものです。また、自殺対策基本法の一部改正により、すべての市町村において自殺対策計画を策定する必要があり、当該プランと一体的に策定したことから、その内容等を報告するものです。

《採択となった請願》

◇請願―＊

◎大槌町旧役場庁舎の公共基準点の原位置保存に関する請願（国道45号線撮影班。PR45代表 新藤典子）

◎消費税10%増税の中止を求める請願（岩手県消費者団体連絡協議会 会長 高橋克公ほか10団体）

《不採択となった請願》

◎消費税10%増税の中止を求める請願

（岩手県消費者団体連絡協議会 会長 高橋克公ほか10団体）

議員の表彰

次の議員が岩手県町村議会議長会の表彰を受けました。

◎議員在職 11年以上表彰

小松 則明 東梅 康悦

平成31年2月19日表彰

議員の表彰

次の議員が全国町村議会議長会の表彰を受けました。

◎議員在職 15年以上表彰

及川 伸

平成31年2月6日表彰

（4月）

3日・大槌町リサイクルセンター竣工式

6日・大槌学園入学式

16日・大槌高校入学式

26日・議会特別編集委員会・議会調査会総会



議員 悦康 梅東

特別支援教育へのサポートは

釜石祥雲支援学校への通学バスの実現を目指す

戸建災害公営住宅の払い下げについて

【問】戸建の災害公営住宅は、建築から5年が経過すると払い下げが可能となることから次の点について伺う。

- ① 詳細な内容の公表時期
- ② 現在把握している希望者数
- ③ 国からの補助金
- ④ 町の支援のあり方
- ⑤ 払い下げ後の固定資産税

【答】（平野町長）
本年の10月に大ケ口2丁目第2町営住宅23戸、来年2月には桎内町営住宅13戸が5年を迎える。
① 内容の公表は本年8月ごろに議会に示したい。

② 希望者数はアンケートで入居者の意向を確認したところ大ケ口で3件、桎内で3件である。

③ 払い下げへの補助制度は、国からの被災者生活再建支援金複数世帯で200万円、県の被災者住宅再建支援事業補助金複数世帯100万円の計300万円があるが、申請期間が定められており、期限が切れた後の対応について協議を進めるよう指示している。
④ 町の支援については、国の補助の動向により考えたい。
⑤ 払い下げ後の固定資産税は各住宅の課税標準額に1.4%を乗じた額を課税することになる。



大ケ口戸建災害公営住宅

特別支援教育について

【問】全国的に特別支援教育を必要とする子供が増加傾向にあり、当町でも同じ傾向にあると考える。学校現場では専門の教員確保が難しい話もあり、

どのような対応をとっているのか。また、町の教育行政として特別支援教育をどのようにサポートしていくのか伺う。

【答】（平野町長）

町全体で特別支援教室は、現在6学級設置されており、専門の免許を所有している教員は5名である。特別支援学級を担当する教員には、毎年、県や町で行われる特別支援教育研修会で指導力の向上を図っている。行政としてのサポート体制は大槌学園と吉里吉里学園小学部に特別支援教育支援員を4名、適応支援相談員を1名配置している。また、現在、釜石祥雲支援学校への大槌からの通

学バス運行の実現を目指し県の教育委員会と協議をしている。

農業振興について

【問】町では単独の補助事業等を設け農業者を支えているが、各種補助事業の成果をどのように分析しているのか。また、所得の向上を図るため、新規の施策を含めた町の農業振興の推進について伺う。

【答】（平野町長）

町単独の農産物生産振興事業補助金では、より効果的かつニーズに即したメニューになるよう、毎年制度の改善を行い、

生産拡大に一定の役割を果たしていると認識している。

また、大槌町地域農業再生協議会の取り組みでは、転作への産地交付金の活用で、近年はピーマンや花の生産量、作付面積が拡大し効果が出ている。農業者の所得向上を実現するため、現場の課題や成果を踏まえ、狭い土地で強固な経営基盤が構築できるよう、生産性向上に資する支援策を国や県と密に連携を図りながら積極的に導入し進めていきたい。

津波遺構の考えは

「鎮魂の森」などを活用し伝承する



阿部俊作議員

教職員労働時間と学び基本条例について

【問】教職員の労働時間はどのような状況にあるか。

【答】（伊藤教育長）

昨年、教職員の労働時間や時間外勤務が多い職員の課題があげられた。学校衛生委員会では、各学校の時間外労働は改善傾向と報告があった。

【問】学びの基本条例制定により、任意が義務となり、教職員の負担増加が懸念されるがどうか。

【答】（伊藤教育長）

本条例は町全体で子供たちを育てる目標・役割等を示した理念条例で、

教職員に義務を課すものではない。

【問】条例の「郷土に愛着と誇りを持つ」には、郷土をよく知り、今ある遺跡・史跡を伝えていくことではないか。

【答】（伊藤教育長）

史跡指定遺跡では、大規模な整備事業を行い、利活用の促進を図ってきた。

歴史的・文化的環境を構築し、子供にも愛着ある史跡を目指したい。

【問】遺構として津波遺構があってもよい。人間の死や過失を問うような遺構（旧役場庁舎）は好ま

しくない。自然災害は常にある、科学的に向き合うことが大事と思うがどうか。

【答】（平野町長）

震災遺構は震災伝承の一つ。「忘れない・伝える・備える」を基本に、今後、整備予定の震災記録誌・鎮魂の森を活用して震災伝承・防災教育を行う。

防災について

【問】町道などに枯れ木や倒木が見え、住民に不安の声がある。対応は如何に。

【答】（田中危機管理室長）

道路に影響があるものは随時除去している。町道管理者として電力会社や関係機関と連携し対応する。

【問】乾燥・強風時期に入り、渇水で不安が大きいが対策は。



赤浜の民宿の上に乗った「はまゆり」（H 23 当時）

【答】（田中危機管理室長）

年間を通して火災予防に努めている。河川等の消防水利の検討は必要。森林経営管理制度などを活用し山林の保水機能を高め森林資源の保護と活用に取り組む。

産業振興について

【問】主要魚種漁獲量減少や法改正による漁業への企業参入の影響は。

【答】（小笠原産業振興課長）

鮭減少は著しく震災前の10分の1。対策は喫緊

の課題。廻来船誘致、養殖支援を進めている。

法改正では、空き漁場に地元と調整の上企業が参入できるもので、漁場環境向上や6次化生産体制を図る。

【問】里山保全も兼ね、兼業農家にも支援を広げてはどうか。

【答】（小笠原産業振興課長）

補助対象は認定農業者としてきたが、販売目的の農産物生産の兼業農家も検討する。



及川 伸 議員

31年度予算の重点目標は

一次産業の6次化で事業展開を図る

町政の総括と評価について

【問】1期4年間の総括と評価を伺う。

【答】（平野町長）

町長就任後、復興計画に掲げる全ての事業を再検討し「責任」を持って事業の見直しを「決断」。第3期実施計画策定では「選択」と「集中」によるメリハリある計画づくりに努め町民と一体となって推進した。また、人口減少が予測されることから、地方創生総合戦略に基づく取り組みや釜石大槌定住自立圏形成協定の締結に取り組む。



大槌町文化交流施設「おしゃっち」付近

【問】大槌町長選挙再選出馬の意向については。

【答】（平野町長）

総合計画の基本理念である「魅力ある人を育て新しい価値を創造し続けるまち大槌」の実現に向けて、次期町長選挙に挑戦させていただきたい。

新年度予算編成と財政運営

【問】現在の町の財政、財政の認識、新年度予算の重点目標について。

【答】（平野町長）

法人町民税が被災前の2倍と復興需要が継続し、未だその影響下にある。重点目標は交流人口の拡

大や移住、定住の推進に取り組み、町民の所得向上を目指す。

【問】自主財源の確保対策について伺う。

【答】（平野町長）

自主財源を確保するために町税の確保が重要であることから町民所得向上と人口減少対策が最優先と考える。そのために新年度予算では産業分野への重点的な施策の展開を図り、おおつち地場産業活性化センターを中心とする6次化・養殖漁業に取り組む。

復興期間後の課題について

【問】復興期間の考え方、復興交付金の今後の予算措置について伺う。

【答】（平野町長）

機械的に10年で切るのでなく、復興の進捗状況を踏まえ柔軟な対応が必要。復興期間が10年間でされていることから復興交付金の措置はされないものと考えている。復興予算は町村会、復興期成同盟を通じて被災地の復興が完了するまで国等に要望していく。

【問】被災地の心のケアにどう取り組むか。

【答】（平野町長）

第9次大槌町総合計画

に「こころの健康づくりの推進」を盛り込んでおり、今後とも被災者を初め、町民の方々の生活環境の変化に対応しながら長期的に心のケアと健やかな心を支える地域づくりに取り組む。

児童虐待について

【問】児童虐待の現状、傾向、対策について。

【答】（平野町長）

昨年度、児童虐待件数は7件。DV等心理的虐待が最多。対応として児童相談所、学校、警察等と連携し、早期発見・早期対応、再発防止に取り組む。

旧庁舎問題をどのように総括するのか

解決が難しい課題も決断し責任を果たす



東 梅 守 議員

総合計画の実行性について

【問】総合計画に先ごろ示された基本理念にある「魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌」とあるが、新しい価値観とは。

【答】（平野町長）

変化し続ける社会情勢をチャンスと捉え、行政と町民一人一人が常にかえ挑戦し続けることがまちづくりを実現する「新しい価値」につながると考える。

【問】「地域の魅力を創造、大槌町で生活することに誇りを持てる価値観を醸成する」とあるが、財源

的な問題も生じてくると思われる。少子化と高齢

化がより一層進展することが予想される当町にあつて、目標値の設定に財政的なこと、人口減少はいろいろな側面で影響を与えると考えるがどのような見通しが立っているのか伺う。

【答】（平野町長）

効率的、効果的な町政運営が図られるよう、選択と集中で事業を進め新たな産業創出、移住定住促進で歳入確保に努める。

交流人口の増加施策について

【問】多くの観光客を呼び込むことが、当町の施策



三陸自動車道の大槌インターチェンジ

としては優先度は高いと考える。一方で、これまでの復興を俯瞰したとき、インバウンドを対象としての施策は皆無と思われるが、インフラ整備が進

んだ一方、懸念されるのはストロー現象など、現状において大槌町への来訪者は増加が見込めるか。総合計画では「おおつちらしい観光物産戦略の展開」で示されているが、期待する思いがある一方で被災地を取り巻く状況を考慮すると期待が裏切

【答】（平野町長）

交通利便性が向上すること、交流人口拡大が期待され、改めて町内の資源を見直し、魅力的なものを高め多くの方に大槌ファンとして来訪していただく。また発信する大槌町民にとって住み続けたい魅力的なまちづくりにつながるよう関係団体と連携し観光振興に取り組

む。

今後の防災まちづくりについて

【問】解体の意思表示から、新年度補正予算での解体予算可決を経て、住民訴訟にまで発展した旧庁舎問題、執行者としてどのように総括するか伺う。

【答】（平野町長）

震災後、保存や解体についてさまざまな動きがあった中、復興状況を見極めながら解体予算の提出時期を判断することとし、復興まちづくり震災伝承に取り組み、昨年3月定例会で予算を可決、また解体工事を進める中で住民から公金支出等の差し止め請求の訴訟を受けたが請求は却下・棄却された。復興の過程においては、さまざまな考えがある中で、時に全ての意見を取り入れることが困難な場合もある。私は解決が難しい課題にも向き合い決断し責任を果たしていきたい。



芳賀 潤 議員

磯焼け対策の具体的な事業は

定期的なモニタリング調査を実施する

31年度主要施策の産業と観光について

【問】磯焼け対策の具体的な事業は。

【答】（平野町長）

31年度は海藻植生を回復させることを念頭に、町単独の磯焼け対策事業として、ウニとツブ貝の間引きと海藻種苗の現地投入を実施し、定期的なモニタリング調査を実施する予定である。

【問】大槌町観光交流協会について、今年との大きな違いは。

【答】（平野町長）

31年度は、大槌町観光交流施設の指定管理者と

して切符販売のほか、観光案内や物産紹介など、来訪者のおもてなしを行う。移住定住の促進や交流人口の拡大を図るため、移住・定住促進事業や、年を通じてサーファーが訪れる浪板海岸ヴィレッジの施設管理も担っている。また、三陸鉄道全線開通に伴う大槌駅開業、三陸沿岸道路開通、三陸防災復興プロジェクト、ラグビーワールドカップ釜石開催など、三陸地域が国内外から大きな注目を集めることから、大槌駅を拠点として大槌駅を発着とした町内周遊バスツアーや飲食店や宿のスタンプリー等の実

施、インスタグラムキャンペーン及び郷土芸能の定期公演など、さらなる交流人口の拡大や特産品の販売促進事業を町関係機関と連携し進めていく。

公文書管理条例の制定について

【問】条例の制定を急ぐあまり、職員、そして住民が置き去りにならないか危惧している。それを一気に進めていく理由は。

【答】（平野町長）

公文書管理と情報公開は両輪であり、公文書の適正管理が情報公開制度を通じて町民の皆様に対する説明責任を果たすことにつながっていく。

公文書の管理についても条例化し、職員一人一人が公文書に対する意識と認識を高め、適切に運用してまいりたいと判断したものである。

住宅建設補助事業の成果と今後について

【問】時限的な施策としてスタートしたが、現在の状況と今後の方向性は。

【答】（平野町長）

住宅建設補助金は243件の交付実績となっており、早期の住宅再建の支援につながっていると認識している。住宅建設補助制度及び宅地取得補助制度は、制度開始から2年が経過する本年7月

31日から順次終了する区域がでてくる。本制度は、早期の住宅再建を目的とした制度であることから、期間延長については予定していない。

【問】防災集団移転団地の今後の空き地活用方法については。

【答】（平野町長）

防災集団移転促進事業により整備した団地は、町方9区画、安渡7区画、赤浜1区画、吉里吉里3区画の空きがあり、防災集団移転促進事業対象者向けに随時募集を行っている。31年度内には財産処分等の手続きを行い、防災集団移転促進事業対

運動施設について

【問】野球場、サッカー場等の運動施設の本格的な工事の着工を予定しているとのことだが、事業が採択されたということか。

【答】（平野町長）

当該事業の復興庁との協議状況は、詳細設計の実施について協議を行っているところである。現状としては事業採択されたということではなく、順を追って協議を整えている状況。速やかな着工に向けて協議を進めていく。

復興へのメッセージ ～地域の声～

東日本大震災大津波から8年の月日が経過しました。
地域の声として、自治会長から復興へのメッセージをいただきました。



大ケロ一丁目町営住宅
自治会 会長

川崎 雅士さん

震災後、災害公営住宅でできた初の自治会として発足して今年で5年目になります。震災前より公営住宅があり元々住んでいた住民の方と震災後に居住された住民の方との交流や、よりよい関係づくりのために年1回草刈り活動をしています。先日は、住民の方との交流を深めようと「お茶っこの会」を催しました。関

係づくりの機会としましては、少しは役立っていたかと思っております。住みよいコミュニティづくりを目指す中で自治会会員の皆様の御協力には自治会長職に就くものとして大変有り難く感謝の念でいっぱいです。これからますます住みよいコミュニティづくりを目指し自治会会員の皆様と邁進していききたいと思



お茶っこの会の様子



小枕地区自治会 会長

村田 比佐子さん

震災後、小枕地区自治会が新たに発足して2年目になります。町内のハード面の工事のゴールが見える中、私たちが暮らす団地の周辺は防潮堤・県道等がまだ工事中で、今後は鎮魂の森の工事也开始、まだまだ終わりにには時間がかかりそうです。うれしい話題として、かねてから自治会住民総意の防潮堤から

団地への取り付け道路の工事が始まりました。2年以上も不自由な往来を続けていますが、もう少しとの気持ちで我慢も継続できると思います。今後は、ソフト面として心のケアも町と協議し、コミュニティの継続を自治会で考えていければいいと思います。



住民支え合いマップづくり報告会の様子

住みよいコミュニティづくりを目指して

います。

表紙写真



表紙タイトル



平成31年4月9日、大槌高校では、対面式が行われていました。
入学したばかりの1年生を2、3年生が迎える恒例の行事で、大槌高校ならではのアットホームな雰囲気の楽しい式でした。1年生が一人ずつ自己紹介をする場面では、先輩方の熱いエールがあり、1年生を温かく歓迎していました。



今回の表紙タイトル「おおつち」は、大槌高校1年生（30年度3月時）の中村海鈴さんに書いていただきました。デザインに込めた思いなどを伺いました。

◆大槌町のどんなところが好きですか。
◇住んでいる人の温かいところが好きです。
◆大槌町がどんな町になったらいいと思いますか。
◇人と人が協力し合える町になってほしいと思います。



定例会 議員出欠表

議席番号	議員氏名	第1回定例会		第1回臨時会	
		3/1～3/14		1/25	
		出席	欠席	出席	欠席
1	佐々木慶一	8	0	1	0
2	下村 義則	8	0	1	0
3	澤山美恵子	8	0	1	0
5	阿部 三平	8	0	1	0
6	小笠原正年	8	0	1	0
7	東梅 守	8	0	1	0
8	阿部 俊作	8	0	1	0
9	東梅 康悦	8	0	1	0
10	及川 伸	7	1	1	0
11	金崎 悟朗	8	0	1	0
12	阿部 義正	8	0	1	0
13	芳賀 潤	8	0	1	0
14	小松 則明	8	0	1	0

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。

● 6月定例会は6月7日（金）開会予定です
（予定は変更される場合があります）

▼3月定例会は平成最後となる本議会であり、次年度予算や第9次総合計画等が上程され、震災復興の仕上げとなる重要な議会となります。いつも以上に身の引き締まる思いでした。

時代は「平成」から「令和」へと変わり新たな時代の幕開けとなり、大槌町がよい町と発展するよう、震災からの復興に全議員で取り組みでまいります。

議会での審議内容はページに限りがあり、議会報では伝わらないことも多いかと思っております。町民の皆様には議会を傍聴していただきたくお願い申し上げます。

（東梅 守）

議会報編集特別委員会
委員長 佐々木慶一
副委員長 阿部 俊作
委員 東梅 守
委員 阿部 三平
委員 下村 義則

編集後記